

第4章

ひがしひろしまこどもエコ探検隊報告

第4章 ひがしひろしまこどもエコ探検隊の報告

1 ひがしひろしまこどもエコ探検隊とは？

ひがしひろしまこどもエコ探検隊は、子どもたちに東広島の環境に触れてもらうことで、自分たちが環境のために何ができるかを考えるきっかけをつくるために、平成29年度から実施している事業です。

子どもが対象の講座内容ではありますが、令和元年度は、お父さんお母さんにも子どもと一緒に環境について考えてもらいたいという思いから、親子ペアで募集しました。

また、より多くの子どもたちに考えるきっかけを持ってもらうため、各回で参加者を募集しました。

2 活動内容は？

令和元年度のこどもエコ探検隊は「生きもの」をテーマに全4回の講座を開催し、市内に生息する生きものを観察して、市内の自然環境に触れてもらいました。

<令和元年度の活動>

	日程	活動タイトル	活動内容
第1回	7月14日 (日)	干潟の生き物や海辺で見られる植物を調べてみよう！	干潟の海の生き物を採取し、採れた生き物や植物の種類から海の水のきれいさを調べる。
第2回	8月5日 (月)	東広島の川はきれい？きたない？川に住む生き物を調べてみよう！	福富町の押谷川に住む生き物の生態及び川のきれいさを学ぶ。
第3回	9月7日 (土)	どんな昆虫が東広島に住んでいるかな？調べてみよう！	黒瀬川に住む昆虫を捕まえ、どんな虫なのか、虫の生態について学ぶ。
第4回	11月30日 (土)	いつも見かける鳥の名前がわかるかも！バードウォッチングの楽しさを学ぼう！	バードウォッチングのマナーや方法、東広島で見られる野鳥の種類や野鳥観察の楽しさなどについて学ぶ。

3 活動報告

(第1回) 干潟の生き物や海辺で見られる植物を調べてみよう！

日時：令和元年7月14日（日）

場所：大芝島（東広島市安芸津町風早）

講師：宮島の磯・海の生きもの調査団（呼坂 達夫さん、金山 芳之さん、平田 攻さん）

内容：

最初に「海辺の里 おおしば」で、海で見ることができる生きものや生物調査における注意点などの講義を受けました。

「大芝島の干潟にはどんな生き物があるんだろう？」「指標生物ってなに？」そんな疑問をわかりやすく解説してくれました。

講義の後は、干潟に移動しました。道中には、海辺に生育する植物についても教えていただきました。

干潟に到着したら、早速調査を開始！

干潟には、ウニやカニから、モズクやアマモなどの海藻まで、多くの生きものがいました。初対面だった参加者も一緒になって調査を行ったり、捕まえた生きものについて先生に聞きに行ったりと、積極的に活動を行いました。

捕まえた生きものは、みんなで分類し、数はなんと…40種以上！中には珍しい生きものもいて、先生もびっくりしていました。

捕まえた生きものの生態や特徴など解説してもらい、みんな先生の話に興味津々でした。生きものは、みんなで協力して海に帰し、「海辺の里 おおしば」に戻りました。

戻ってからは、捕まえた生きもの情報を記録用紙にまとめ、環境評価を行いました。

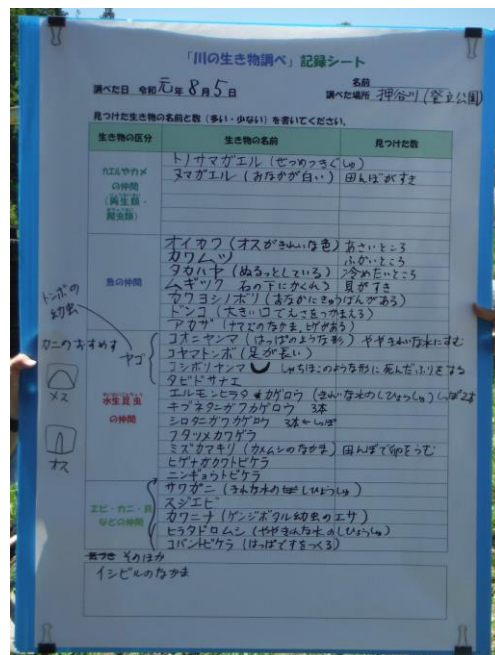
結果、生物環境・水質の評価はともにB。大芝島の海は、きれいな海であることがわかりました。

東広島市の海にはどんな生きものが住んでいるのか。そして、海や生きものを目で見て、肌で触れることで、この海を守るために自分たちに何ができるかを考えるきっかけになったようです。



(第2回) 東広島の川はきれい?きたない?川に住む生き物を調べてみよう!

日時：令和元年8月5日(月)
場所：押谷川(東広島市福富町久芳)
講師：広島県環境保健協会(和田さん、中西さん、笹田さん、下西さん)
<p>内容：</p> <p>活動日はとてもいい天気で、絶好の調査日和でした。</p> <p>調査の前に、まず、川で活動するときの注意点を聞きました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 膝より深いところにはいかないこと 2. 草があるところには近づかないこと 3. 石と石の間に足を挟んで進むこと <p>川にはいろいろな危険性があります。この機会に、危険性について学ぶことができました。</p> <p>先生の注意をよく聞き、みんなで調査を開始!</p> <p>先生にアドバイスをもらい、石をめくってみたり、網で川の淵を探ってみたりしながら、夢中になって生きものを探しました。段々慣れてきたのか、生きものを見つけるのも、捕まえるのも上手になり、多くの生物を捕まえました。</p> <p>この日、押谷川には多くの魚も見られたので、みんなで追込み漁を行いました。しかし、水の中では魚の方が上手なので、一匹しか捕まえられなかったです。</p> <p>調査後は、捕まえた生きものの仕分けを行いました。1種類ずつ、生きものの生態について教えてもらいました。</p> <p>最初、押谷川には5種類の生きものしかいないと予想していた参加者ですが、捕まえた生きものは、なんと20種類以上!みんなびっくりしていました。</p> <p>川には多様な生きものがあることを学び、参加者は、自分の身近な川の生態についても興味を持ってくれたようです。</p>



第4章 ひがしひろしまこどもエコ探検隊報告

(第3回) どんな昆虫が東広島に住んでいるかな?調べてみよう!

日時：令和元年9月7日(土)

場所：三ツ城コミュニティハウス(三ツ城小学校内)、黒瀬川

講師：広島大学大学院 統合生命科学研究科 教授 中坪 孝之 先生

内容：

最初に、三ツ城コミュニティハウスで昆虫採取における注意事項を聞きいて、黒瀬川土手で調査を開始しました。

草むらをごさごさ動かしたり、葉っぱをめくってみたりなど、昆虫を探しました。

見つけても、素早い動きで逃げられてしまうこともありました。

「難しいね!」と言いながら、参加者同士、協力して昆虫採取を行いました。

三ツ城コミュニティハウスに戻り、捕まえた昆虫について情報をみんなで共有しました。

ニシキリギリス、ショウリョウバッタ、チョウセンカマキリ…、捕まえた昆虫だけでも10種類以上でした。黒瀬川の土手にもいろいろな昆虫が生息していることがわかりました。

昆虫には、きれいな色の虫、派手な色の虫、毒を持つ虫に似せた色の虫、目のような模様のある虫…など、虫の色とその役目について話を聞きました。

また、食糧不足の解決策として昆虫が注目されているという話を受け、食用として食べられている虫を試食しました。

最初は恐る恐るといった様子でしたが、一度食べると、「おいしい!」とたくさん食べる参加者もいました。

最後は、先生が採取した虫や標本を見ました。普段見ることがないような虫を細部まで観察することができました。

身近な黒瀬川の土手で多くの昆虫を捕まえることができ、虫の生態や特徴など、初めて知ることがたくさんありました。

今後の日常生活で、身近な自然に目を向けてもらい、季節の変化や環境の変化などを肌で感じてほしいです。



(第4回) いつも見かける鳥の名前がわかるかも！
バードウォッチングの楽しさを学ぼう！

日時：令和元年11月30日(土)

場所：平岩地域センター、大沢田池

講師：東広島の野鳥と自然に親しむ会(新名 俊夫さん、新名 政子さん、飯田 義彦さん)

内容：

はじめに、平岩地域センターで、東広島で見ることができる野鳥について学びました。

- ・冬に日本へやってくる「冬鳥」
- ・一年中見ることができる「りゅう鳥」
- ・ガチョウやアヒルといった「かい鳥」

冬でも、様々な鳥を見ることができるようです。

座学の後には、大沢田池へ移動し、普段の生活では、触る機会が少ない望遠鏡を実際に使って、野鳥の観察を行いました。

反対側の岸にいる鳥がとても近くに見え、羽づくろいや羽を乾かしている様子がよくわかりました。中には、ぷかぷか浮きながら寝ている鳥もいました。

30分の観察時間があっという間に感じました。

平岩地域センターに戻ってから、大沢田池にいた野鳥の情報を共有しました。

ヒドリガモ、ホシハジロ、オカヨシガモ、ハシビロガモ、カワウ、オオバン、カワセミ、アオサギ、トビ、スズメ、ガチョウ…そしてオシドリ！とてもきれいな鳥でした。

野鳥は、人間が近づくとすぐ逃げてしまいますが、望遠鏡を使うと、ゆっくり観察することができました。

知っている鳥でも、どんな特徴があるか、何をしているか、初めて知ることが多かったです。

普段の生活でも、空や池、川などの自然に目を向けて、些細な変化や季節の変化を感じてもらい、東広島市の環境について考えるきっかけにしてほしいです。

